

外勤働に放て十六銭も切りの下す

その外五川履車では極端に人衆を節約してゐるために毎月十五時  
下も働かされるのみならず五日に一回くらいは徹夜に準しい労働  
働させられるのすまた休憩時間や食事時間も狭いといつてもい  
くらくらして私共は毎日一食の赤字を三回でやつと食ひ終るといふ状  
態です。在り休日も市霞下は八日に一回まはつてくるにかいはら私  
私共は十日に一回しか休むことはできないう下す

市民諸君以上は私共のほんとうの生活です。この節儉の無い時に妻や  
子をかへて一ヶ月手賃を丸へて四十円や四十五円下りして暮  
せまうか、一ヶ月の時給に毎日十五時近くも働かされてどうして身  
俵がついてきますか。これが牛馬の生活といふだけだけの差がありますか  
私共は公共の事業に携はつてゐると言ふかされておます。しかし  
そのやうに大切な公共事業に働いてゐる私共は普通工場の労働者の賃  
銀の三分の二にもあらずおまのこかくれおいはあきませんか。

△会社の態度 私共の態度 是こ下私共はかくの如き生活の不健康  
席上の危機を逃れむに去る八月八月一月五十五身の増給八時労働  
働八日に一回の休日其他二箇條の要亦を会社に提せしたの下す。  
この要亦も亦も他の二箇條労働者にくらふれば甚しく劣つたもの  
だつたの下す

ところか私共の斯の如くを言ふ斯の如く溢れよ要亦に對して会社は  
一顧も映へざるのみか私共の交渉専使職野若外八名を無罪にも裁  
首に暴虐ふる甚巨的態度を以て私共を威嚇したのてあります

こゝに於て私共は万算を算りて合意を糾合して翌日止むおく撤  
隊の手段を用ひざるべからざるに至り終に合盟罷業を敢行するに  
至つたの下あります。

先般ある会社を夜は常に公共事業の美名にかくれて私共を牛馬に  
等しく酷使して居ります。もし会社に於て是に交通機關の使命に忠  
実下あるふらば後進後及ば拂き等は自らの利益を自利して  
一般市民諸君及公共進業家の福利の増進について誠意ある施設があ  
るべき筈であります。しかし会社は自分の利益より外に何の考へもな  
く後進に誠意あることは市民諸君の既に下々御承知の通りであります

私共はストライキを宣言した。私共の行動は行動に對して日々労働  
条件此は金力を注いで私共を援け会社の飽くふき食費をくづくこと  
を声辨こました

私共は私共の目的を貫徹するまではこれを継続する至存の覚悟を  
止めて、市民諸君に不便を與ふることには決して諸君に對してお気の毒  
である。しかしこれは要するに悉く公共事業を私利にのみ用ふる